

ユーラシア大陸との対話

原発・温暖化・生物多様性

豊かな自然環境を有するユーラシアは、近年、開発や地球環境問題の影響を受けて自然環境の劣化が進んでいます。本シンポジウムでは、シベリア、サハリン、極東、モンゴルの4つの地域を取り上げ、ユーラシアにおける自然環境破壊の現状をみます。また、先ごろの福島原発の惨事による自然破壊が懸念されますが、チェルノブイリ原発事故について、その発生から今日までの全貌、事故による放射線の環境への影響を専門家にお話しいただきます。



■日時 5月21日(土) 午後2時～6時

■会場 聖心女子大学「宮代ホール」

東京メトロ日比谷線「広尾駅」2番出口下車、
広尾商店街を通り、徒歩約3分



撮影者
トラ：大北寛氏
オオワシ：齊藤慶輔氏

- 温暖化するシベリアの自然とそこに生きる人々 榎山 哲哉
- サハリン開発とオオワシ ～12年間の調査から見えてきたもの～ 齊藤 慶輔
- 危機に瀕するアムールトラと極東の自然環境 関 啓子
- モンゴル高原の草原観光と環境問題 山口 有次、バイカル
- チェルノブイリ原子力発電所事故の全貌 藤井 晴雄

参加費：資料代として一般1,000円、学生 500円
ユーラシア研究所会員 無料

お申込方法：ユーラシア研究所ホームページ<http://www.t3.rim.or.jp/~yuken/>
から申込書をダウンロードの上、FAX (03-5477-7612)、
もしくはメールyuken@t3.rim.or.jp 添付ファイルでお送り下さい。



ユーラシア研究所

〒156-0052 東京都世田谷区経堂1-11-2
TEL/FAX：03-5477-7612
E-mail：yuken@t3.rim.or.jp
ホームページ：http://www.t3.rim.or.jp/~yuken/